特定非営利活動法人骨髄バンクサポート新潟　ニュースレター　Vol. 7（2011 年２月発行）

骨髄バンクを介する末梢血幹細胞移植スタート!

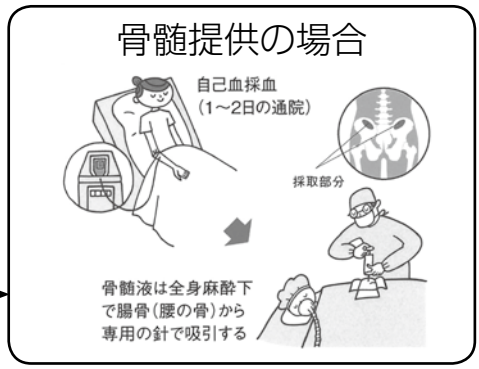
昨年10月より、日本の骨髄バンクでも末梢血幹細胞移植が導入されました。

末梢血幹細胞移植とは、移植に必要な造血幹細胞を薬の投与により大量に生産させ、骨髄から体中の血管に流れ出したところで、腕から血液成分分離装置を使って採取した造血幹細胞を患者さんに移植する方法です。提供者は骨髄移植のような全身麻酔の必要は無くなりますが、薬の投与（注射）に通院し、採取中に両腕を動かす事は出来ません。当面は骨髄提供のみとなる場合が多く、末梢血幹細胞移植の本格的始動は平成24年度を予定していますが、新しい方法が増えた事で、患者さんの生きるチャンスが広がりました。

ドナー登録の時点では、骨髄移植か末梢血幹細胞移植かドナーは選べません。（ドナー候補となりコーディネートが開始されると選択できます）まず大切なのは、患者さんとドナーさんのHLA型（白血球の型）が一致すること。そのためには、骨髄移植、末梢血幹細胞移植を理解してドナー登録して下さる方が増えなければなりません。かけがえのない命を救うために、これからも骨髄バンクへのご協力をどうぞ宜しくお願い致します。NPO法人骨髄バンクサポート新潟も、骨髄バンク支援に力を入れて取り組んで参ります。

【ドナー登録から提供までの流れ】

ドナー登録 → HLA型一致の通知 → コーディネート開始 確認検査 → 最終同意 → 術前健康診断



詳しくは骨髄バンクにお問合わせ下さい
０１２０－４４５－４４５　　http://www.jmdp.or.jp

休日ドナー登録会のお知らせ

平成23年2月19日(土)　10：00～16：00
ジャスコ上越店アコーレ1階セントラルコートにて

〈ドナー登録出来る方〉
- 18歳～ 54歳までの健康な方
- 体重が男性45kg以上、女性40kg以上の方
- 骨髄、末梢血幹細胞移植の提供内容を十分に理解している方（当日説明あり）

当日ボランティア大募集！
どなたでもOKです。
お手伝い出来る方、
当会事務局までご連絡下さい。
０２５－５４６－７３３７

非血縁末梢血幹細胞移植にむけて

㈶骨髄移植推進財団　広報渉外部
渡辺　良輝 氏

昨年10月、これまで血縁者間でのみ行われていた末梢血幹細胞移植が、骨髄バンクでも導入されることとなりました。末梢血幹細胞移植（PBSCT）とは白血球を増やす薬（G-CSF）をドナーに注射で投与し、増加して末梢血中にあふれ出てきた造血幹細胞を、血液成分分離装置（成分献血で使用する機器）で採取する手法です。骨髄移植とPBSCTにはそれぞれ長所・短所がありますが、選択肢が増えたということは、患者とドナー双方にとって大変有益です。進行期白血病やミニ移植が必要な患者さんがPBSCTを選択できるようになりますし、腰椎ヘルニアの手術歴などで骨髄採取ができなかったドナーにも提供の道が開けることになります。現在では段階的な導入にとどまっており、今後PBSCでの移植・採取が一般的なものとなるにはしばらくの時間を要すると思われますが、財団では引き続き移植施設の認定作業など、普及に向けた準備を進めてまいります。

新潟大学医歯学総合病院　無菌治療部　准教授
古川　達雄 先生

白血病や再生不良性貧血などの造血器悪性腫瘍や血液難病に対して、健康なドナーさんから造血幹細胞を移植する同種造血幹細胞移植は重要な治療法の一つとなっています。造血幹細胞は基本的には骨髄に存在して、赤血球、白血球、血小板をつくりだすもとになる細胞です。その細胞を健康な方から採取して、移植することで効果を期待するのが同種造血幹細胞移植です。通常、骨髄に比べると、末梢血中の造血幹細胞は少なく、末梢血を集めても移植に十分な細胞数は確保できません。しかし、造血因子である顆粒球コロニー刺激因子（G-CSF）を健常人に注射すると、骨髄から末梢血へ多量の造血幹細胞が循環してきます。そこでG-CSF注射後、血液成分分離装置によって末梢血の一部を集めることで、十分な造血幹細胞を確保できるようになります。骨髄バンクでは、これまでの骨髄移植に加えて、新たに非血縁者間の末梢血幹細胞移植の導入を開始しました。末梢血幹細胞移植は、患者さんには骨髄移植より早い造血回復が望めることや、ドナーさんの自己血採取が不要なことから、コーディネート期間の短縮が期待できるといった利点があります。この方法は諸外国で広く行われており、また国内でも血縁者間では2000年に健康保険の適用を受けて実施されてきました。ドナーさんの安全に関して、5年間の血縁者間ドナーフォローアップ事業を行って、安全が確認されましたが、一方でいくつかの注意すべき合併症も指摘されています。末梢血幹細胞提供におけるドナーさんにとっての長所は、自己血採血がないこと、および全身麻酔下での手術が不要になることです。一方短所としては、G-CSFの注射の副作用や採取中の合併症にも注意すべきものがあることです。これら長所・短所の詳しい内容については、日本骨髄バンクニュースvol.36にわかりやすく書かれています（http://www.jmdp.or.jp/about_us/publishing/jmdp_news.htmから入手可能です）ので、是非参考にしてください。この方法の普及により、ドナーさんはこれまでの骨髄提供に加えて末梢血幹細胞提供という新たな提供方法を選択することが可能になります。ただし安全かつ確実な導入のために、最初は限定されたドナーさんのみを対象として、また採取施設も施設調査を行って、基準を満たす移植・採取施設において開始され、徐々に拡大していく計画ですすめられます。

新潟県福祉保健部　健康対策課
相馬　幸恵 氏

ＮＰＯ法人骨髄バンクサポート新潟の皆様におかれましては、日ごろから骨髄バンク事業に御尽力、御協力をいただき、非常に力強く感じているところであり、心から感謝申し上げます。

さて、平成23年１月より本格的に非血縁者間末梢血幹細胞移植が導入され、骨髄移植と比べ各々長所、短所があると言われておりますが、ドナーさんや患者さんの選択肢が増えたことは、ドナー登録の確保の推進につながるものと期待しているところです。

本県では、昨年末に初めて、ボランティアの皆様や行政担当者等が一同に集まり資質向上を目的とした研修会を開催したところですが、今後も骨髄移植等の推進のため、県民の皆様が骨髄バンクについて正しく理解してドナー登録ができるよう、普及啓発の強化を図ってまいります。

◆活動報告

ドナー登録会

★えちごくびき野100キロマラソンドナー登録会

2年に一度開催されるこの大会。今回は選手受付と前夜祭が行われた10月8日（金）13時～16時半までリージョンプラザ上越にて、100キロマラソン実行委員会のご協力により登録会が実施され、短時間にも拘わらず17名の方にご登録頂きました。ありがとうございました。

★献血併行ドナー登録会

・11月12日（金）ＪＡ柏崎本店　13名登録　・11月26日（金）電気化学工場田海工場　9名登録

語り部講演会

二人の子どもの移植治療体験談を通し、命の尊さ、思いやりの大切さについて、斉木桂子理事長が語りました。骨髄移植や骨髄バンクに関するクイズの他、24時間テレビに出演した時のエピソードも披露されました。

10月15日（金）　英智ウィル学院高等学校　生徒150名　　11月20日（土）　新潟市立亀田西小学校　3年生97名

11月27日（土）　加茂暁星高等学校衛生看護科　4年生38名

バンダナ贈呈

ジャスコ上越店実施の『幸せの黄色いレシートキャンペーン』（毎月11日にジャスコで買い物をした際渡される黄色いレシートの1％がボランティア団体に寄付される）によって頂いた180枚のタオルハンカチを、10月27日（水）に長岡赤十字病院と県立がんセンター新潟病院、12月17日（金）県立中央病院に贈呈し、闘病中の患者さんに届けられました。また、受け取った患者ご家族からのお礼の電話や、骨髄移植治療を終え退院した方から入会の問い合わせと「体調が良くなったら、是非ボランティア活動をさせて下さい」との嬉しい言葉を頂きました。

「長岡赤十字病院の骨髄移植に関する取り組みについて」

長岡赤十字病院　事務副部長　鈴木　良昭 氏

先ずは、一昨年以来３回に亘り、貴会より患者様のためにバンダナとハンドタオルを頂きましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。

さて、当院は病院として非血縁者間の骨髄採取施設認定を、血液内科についても骨髄移植診療科としてそれぞれ骨髄移植推進財団より認定を受けております。これは、取扱例実績だけではなく、専門医・麻酔医の人的体制のほか、施設整備面や医療安全・院内感染対策といった管理体制の総合評価によるもので、血縁者間骨髄移植も含め、小池副院長のもとその使命を全うすべく活動しているところです。昨年度の骨髄移植関連では、血縁者間を含め移植が11件（その内、骨髄バンクから6件）、骨髄液採取が5件の実績がありました。

余談ながら、非血縁者間骨髄移植では移植用骨髄液を病院職員の手で運びます。主治医自ら運ぶケースもありますが、責任ある立場の人間であれば医師にこだわる事はないため、当院では診療で多忙な医師の代わりに事務職員がお手伝いすることが多くなりました。正に「命のリレー」のため、搬送用のボックスを手に抱え、日本全国どこの採取病院へも赴きます。なお、その費用も移送費扱いとして保険適用が認められているとのこと・・。

今後も、皆様方からの善意が実を結ぶことを願いながら、微力ながらお手伝いをさせていただきます。

学習会

★11月 3日（水・祝）『説明員研修会（東京）』主催：骨髄移植推進財団　参加者：7名

★11月 4日（木）『NPO法人会計基準学習会（上越市）』主催：くびき野NPOサポートセンター参加者：1名

★12月14日（火）『平成22年度骨髄バンク事業従事者研修会（新潟市）』主催：新潟県　参加者：3名

私たちは、末梢血幹細胞移植について昨年の１１月に東京の会場で研修を受けてきました。今までの骨髄移植に比べて、全身麻酔が不要となることでドナーのリスクが緩和されると期待されています。しかし、事前に薬剤を注射することで、副作用が全くないわけでもありません。ドナーにはそのことをどのように、また正確に伝わるように努めることが説明員に求められてきます。ドナーの方の負担が軽くなり、その結果患者さんに移植の機会が増えることを願っております。　（ボランティア：小島充）

ありがとうございました

（H22.9月15日～H23.1月20日まで）

学校給食調理員部会様

私達学校給食調理員は毎年十月に行われている“市と姉妹都市の観光と物産展”で揚げパンの販売を行っています。今年もその収益金を“骨髄バンクサポート新潟”の活動にお役に立てていただきたいと思います。

皆さんの活動を通して日々生活の中でおろそかにしている命の大切さを改めて考えさせられ、私達調理員も子供達に安全で美味しい給食を一生懸命作っていきたいと思いました。

これからも皆さんの活動を支援し応援していきたいと思っております。

（調理員　上野秀子）

【寄付】
○板倉町スキー協会様　○学校給食調理員部会様　○石田医院様　○鈴木保子様　○匿名希望様　○ホクギンまごころの会様
○ダイドードリンコ株式会社様　○古川力様　○ＢＳＮ愛の募金様　○(医)淳厚会ニュータウン北島整形外科医院　理事長北島忠昭様

【賛助会員】
○折笠智子様　○二所宮智子様　○渡辺恭子様　○山﨑美矢子様　○松尾久美子様　○礪波由美子様　○江端麻美様　○高館紀子様
○藤沢貞様　○丸田トヨ子様　○田中明美様　○横山美春様　○北澤基樹様　○松井康哲様　○松井友子様　○小山弘子様
○高橋通子様　○田中昌義様　○若井博幸様　○高沢和之様　○大滝信男様　○川崎和子様　○鈴木保子様　○山口こずゑ様
○武藤静子様　○金井芳子様　○北康子様　○斉藤美晴様　○横田久美子様　○株式会社平林塗装様　○大平洋特殊鋳造労働組合様
○伊藤寿子様

◆只今準備中…乞うご期待！

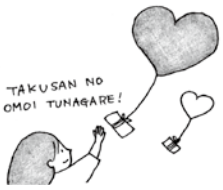
『作文コンクール』

小中学生を対象に「骨髄バンクに関する体験や読書感想による作文を通し、骨髄バンクへの関心と協力を高める」ことを目的に、いよいよ23年度よりスタートを予定しています。骨髄バンクドナー登録会でのボランティア体験や、骨髄提供者になった家族や知人をみて思った事のほか、骨髄移植や骨髄バンクに関する書籍を読んで感じた事などの作文から優秀作を選び表彰します。表彰式にはゲストも予定しています。

『オリジナル紙芝居』

骨髄バンクをより身近に感じ理解してもらうために、オリジナルストーリーに地元イラストレーターの協力による本格的な紙芝居製作に取り組んでいます。学校訪問やバザー、ドナー登録会など様々な活動でお披露目する予定。どうぞお楽しみに。

◆第3回通常総会のお知らせ



日　　時 ： 平成23年4月24日（日）　13：30～15：30
場　　所 ： 上越市民プラザ（上越市土橋1914-3　㈹025-527-3611）　第6会議室
備　　考 ： 正会員には議決権があります。4月に入ってから資料をお送りしますので、同封のハガキで必ず出欠のお返事をお願い致します。当日は、会費を申し受けます。

日本骨髄バンクの現状（平成22年12月末現在）

	11月	12月	現在数	累計数
ドナー登録者	3,339	2,952	376,237	488,101
内新潟県	41	23	9,913	－
患者登録者	242	256	2,879	31,891
内新潟県			25	429
骨髄移植例	92	82	－	12,498
内新潟県居住者			－	186

骨髄バンクへのお問合わせ　0120-445-445

NPO法人 骨髄バンクサポート新潟 入会のご案内

正会員	賛助会員
個人一口　2,000円より 団体一口　10,000円より	個人一口　2,000円より 団体一口　10,000円より
ボランティア活動を一緒にして下さる方 総会での議決権あり	資金援助をして下さる方 総会での議決権なし

振込先口座名　N`PO法人骨髄バンクサポート新潟
郵便振替口座　００５００－５－９７１４２

特定非営利活動法人　骨髄バンクサポート新潟
〒943-0805　上越市木田2-3-11-5　電話　025-546-7337　FAX　025-546-7338　Mail　kbsniigata@gmail.com